


# 図書館だより

発行：鶴ヶ島市立図書館 <https://www.lib.tsurugashima.saitama.jp/>  t\_roncyan

〒350-2223 鶴ヶ島市大字高倉1247番地1 Tel 049 (271) 3001 Fax 049 (271) 0121 (中央図書館)

## 図書館は、子どもの読書を応援します!!

かつては、「テレビっ子」という言葉があり、テレビが読書の敵のように思われた時代もありましたが、現在では、パソコンのみならず、スマホや携帯ゲーム機からも簡単にインターネットに繋がり、テレビの存在をも脅かすまでになりました。ますます「本は不要」と思われがちですが、子どもの読書に関しては、国を挙げて、推進の取り組みがされています。

### 始まりは「朝読(あさどく)」

「朝の読書運動(朝読)」は、昭和が平成に変わる頃、千葉県の高校教師の実践から全国に広がり、特に小学校で盛んに行われています。これは、毎朝10~15分間、生徒全員で、めいめいに好きな本を読むだけのもので、感想文を書いたり課題を出されたりすることはありません。もともと、学習を目的としたものではありませんが、読書嫌いの子が本を読むようになったり、クラスに落ち着きが出て、いじめが減少したり、学力が向上したりといった効果が見られたため、文部科学省で策定した「21世紀教育新生プランの「三つの柱」の一つにも取り上げられ、その後も、子どもの読書活動を推進する様々な政策が進められています。

### 鶴ヶ島市子ども読書活動推進計画

図書館では、従来からおはなし会等を開催するなどし、乳・幼児期から本に親しめるようにしたり、学校図書館の選書のお手伝いや学校司書の研修を企画し、また、朝読の時間におじゃまして、本を紹介するなど、子どもの読書を応援する環境を整えてきました。平成18年に策定された第一次「鶴ヶ島子ども読書活動推進計画」では、それらの活動が政策として位置づけられ、平成24年度に改訂された第二次計画では、新たに「ブックスタート」が取り入れられ、平成25年度から実施されています(図書館だより4月号をご覧ください)。

### 子どもの本は永遠に不滅です

大人の本には見られない、絵本や「ものがたり」の大きな特徴は、ロングセラーがたくさんあることです。半世紀も前に出版された本が、刷りを重ね、現在でも定番として書店に並び、3世代に読み継がれているものも少なくありません。読み聞かせや、ページをめくるときに広がるイマジネーションは、本ならではのもの、いつまでも大切にしたい文化です。

「鶴ヶ島市子ども読書活動推進計画」は、図書館や図書館のホームページでご覧いただけます。

## 学校図書館と市立図書館の連携

図書館サービスの一つに児童サービスがあります。多くの子どもたちに本の世界を楽しんでもらえるよう、子どもと本を結ぶためのサービスを行っています。その一環として、小・中学生が読書に親しむために、学校と市立図書館（以下「図書館」という。）が協力して学習支援や読書支援を行っています。その学校図書館との連携についてご紹介します。



4月頃には小学校へ出向き、新1年生に向けて図書館が身近なものと感じてもらうため、利用の仕方について話をします。図書館利用促進の一環ですが、何よりも子どもに本の楽しさを知ってもらうため読み聞かせや本の紹介をします。

5月頃には、中央図書館の展示室で「児童図書展示会」を行います。小・中学校図書館の本の選定に役立てていただくことを目的に約1万冊、およそ50出版社の協力で本を展示します。児童書は、書店にあまり並ばないので、この機会でないとは全点ご覧になれないので、皆様にもぜひお越しいただきたいものです。

夏休み前には、学校と協力して子どもたちがたくさんの本に出会えるよう「おすすめしたい本」の選書やリストを作成しています。また、1年を通して、いつでも、どこでも本が手に取れるよう市内の全小学校、一部の中学校のクラスに約50冊の学級文庫の貸出しも行っていきます。

これら学校と図書館の橋渡しをしているのは、学習支援のために図書の整備や子どもたちへの読書の働きかけを行っている専任の学校図書館司書です。学校図書館司書から連絡が入ると、学校へ出向いたり本から幅広い知識を得てほしいと選書して団体貸出の手続きをします。



また、読み聞かせのボランティアの方々が、朝の読書活動等で読み聞かせを行い、子どもたちに本をたくさん紹介しています。そのボランティアの方と連絡を取り、「学校読み聞かせボランティア勉強会」、「おはなしボランティア講座」を行い、情報交換や読み聞かせの仕方、ボランティア活動について学んでいます。

私たち大人は、子どもに本の楽しみを知るきっかけづくりをすることが重要です。子どもは本の世界の中でさまざまな体験し、そこから情緒や知性、考える力を身につけ、困難に立ち向かう生きる力を育てていくことにつながります。子どもの読書が自然なかたちで定着できるよう、学校図書館と図書館が連携・協力した取り組みを継続的に推進していきたいと考えています。

### おはなしボランティア講座「わらべうたを覚えよう！」

対象	市内で読み聞かせのボランティアを行っている方や新たに始めようとしている方
日時	11月20日(水)・11月27日(水) 10時~12時
講師	久保田里香さん
内容	心地よいことばを子どもたちに伝えるためにわらべうたを学びます。
場所	中央図書館視聴覚室
定員	30名
参加費	無料
保育	2歳~小学校就学前まで ※各回定員4名
申込み	11月5日(火)10時から中央図書館へ(TEL:271-3001)

## 》 書 評 《

### 「インカースロン 囚われの魔窟」キャサリン・フィッシャー著 井辻朱美訳 原書房

インカースロンとは巨大な“監獄”のこと。インカースロンの中で、目が覚めたフィン、それまでの記憶が全くなく、自分が誰なのか分からなかった。わかっているのは自分が〈外〉で生まれたであろうこと。地獄のようなインカースロンで生き残るため、ケイロの義兄弟となるが、いつかはインカースロンを脱出したいと考えていた。かつてたったひとり脱出に成功したサフィークの話は、伝説となっていた。ある日、フィンは偶然(?) 手に入れたクリスタルの鍵を通して〈外〉と繋がることに成功する。

インカースロンは監獄だが、送り込まれた囚人たちに食べ物や衣服、教育を与え、完全自給自足をめざす、という“楽園”をつくる実験でもあった。その場所は〈外〉の世界の〈管理人〉だけが知っていて、ひとり娘のクローディアでさえ知らなかった。

どうにか探り出した〈管理人〉の秘密の部屋で、クローディアはクリスタルの鍵を使ってインカースロンのフィンと話し、そこが楽園などではないことを知る。クローディアはフィンが誰かに似ている、と思う。そして、フィンの脱出に協力すると約束したものの、肝心の監獄の場所がさっぱりつかめない…。刻々と迫る王子との婚礼の日。ついにクローディアはある決断をする。

この作者の前作「サソリの神」3部作でもそうだったが、主人公が、生きる希望や友情、未来のために、とんでもない危険を冒して、秘密に迫っていくので、ついのめりこんでしまう。いったいどんな結末になるのか予測ができないもどかしさと楽しみ。キャサリン・フィッシャーの作品は“地に足が付いている”ファンタジーで、長編好きの皆さんにお勧めします。もちろん続編の「サフィーク 魔術師の手袋」も一緒にどうぞ。巻末に訳者の井辻朱美さんの解説もついています。



## 名作・迷作／名盤・迷盤

### COVER ALL HO!／山崎まさよし CD 31 ヤマ

山崎自身が日本料理店の店主に扮したジャケットも粋な邦楽カバーアルバム。昭和・平成の名曲を抜群のセンスで“料理”しています。

収録曲の紹介も一流料理店のおしながき風。オリジナル曲への敬意とオトナの遊び心が絶妙に合わさったまさに“名盤”といえるでしょう。赤いパッケージの「COVER ALL YO!」(こちらのジャケットはビストロ店主風)も、ぜひチェックしてくださいね。



# 中央図書館 10月・11月の行事、展示

月 日	行 事 名	主 催
10月4日(金)、11月1日(金)	講座「読み直す江戸時代」	青葉の会、鶴ヶ島市立図書館共催
10月11日(金)～14日(月)	絵画サークル虹展	絵画サークル虹
10月18日(金)～20日(日)	鶴ヶ島市文化祭「華展」	鶴ヶ島市茶華道連盟
10月31日(木)～11月4日(月)	アート東展	アート東
11月9日(土)～17日(日)	鶴ヶ島市文化祭「鶴美展」	鶴ヶ島市文化団体連合会
11月20日(水)、27日(水)	おはなしボランティア講座	鶴ヶ島市立図書館
11月23日(土)～28日(木)	写真展	鶴ヶ島写楽会
11月30日(土)～12月5日(木)	ぱれっと絵画展	ぱれっと

\* 展示は、中央図書館の休館日にはご覧いただけません

## 中央図書館の開館日とおはなし会の予定

開館時間：午前9時30分～午後6時

■は休館日

### 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

おはなし会	毎週日曜日 11時から
かみしばいの会	第2・4土曜日 11時から
あかちゃんとおかあさんのためのおはなし会(0～1歳向け)	第1金曜日 11時から
ぴよぴよタイム(1～3歳向け)	第3木曜日 11時から
おはなしの小箱(主に素話)	第3土曜日 11時から

## 分室の開館日とおはなし会の予定

開館時間：午前10時～午後5時

東分室(水・金・土・日曜日) 9月16日(月・祝)は子どもフェスティバルのため臨時開館します	おはなし会 毎週金曜日 11時から
西分室(水・木・土・日曜日)	にこにこあかちゃん(あかちゃん向け) 第2水曜日 10時30分から おはなしランド(幼児向け) 第2・4木曜日 11時から
南分室(水・金・土・日曜日)	おはなし会(あかちゃん向け) 毎週金曜日 11時から おはなし会(小さな子～小学生向け) 毎週日曜日 10時30分から
北分室(火・金・土・日曜日)	おはなし会(小さな子向け) 第1・3・5金曜日 11時15分から
富士見分室(火・木・土・日曜日)	おはなし会 毎週木曜日 11時から
大橋分室(火・木・土・日曜日)	おはなし会 毎週木曜日 11時15分から